

DOJIN
R18
成人向け

18歳未満の
購入・閲覧禁止

パ
チ
ユ
リ

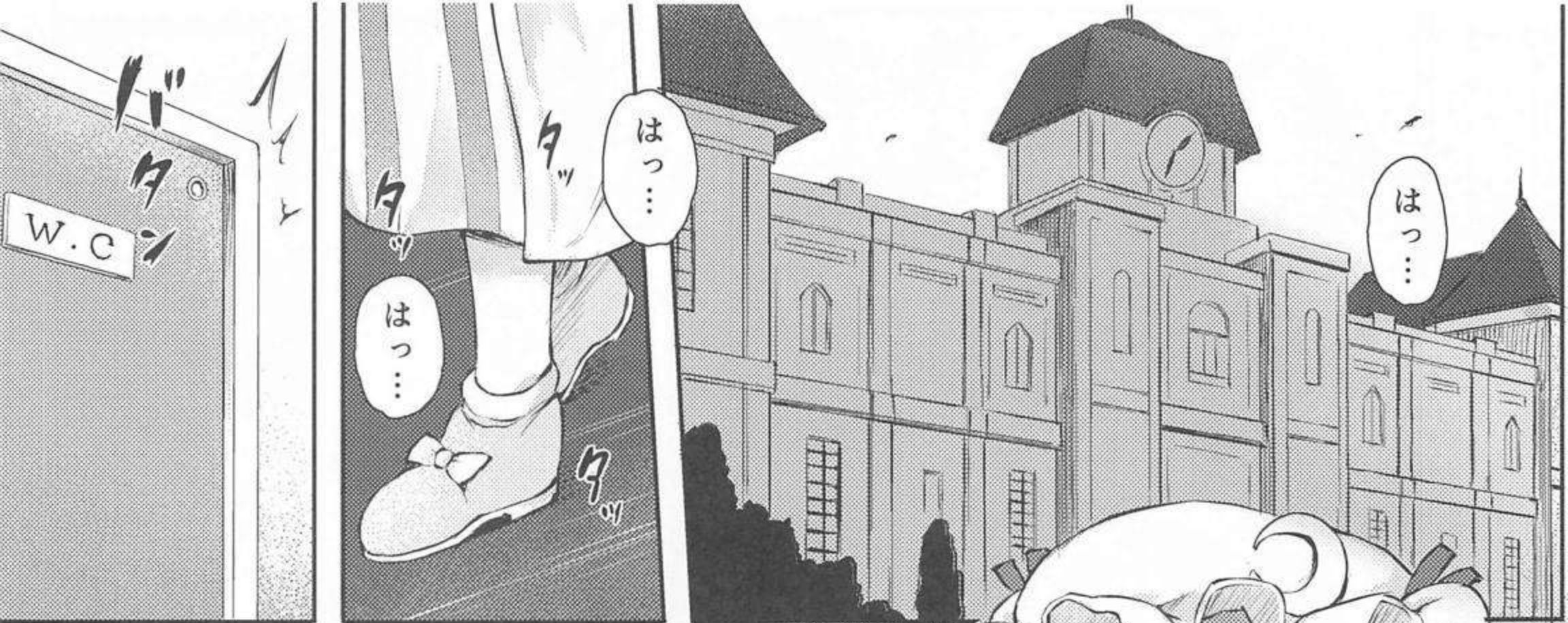
ノ
ー
リ

レ
ッ

シ

快
発
記
録

II





ギィ...

カキヤ

失礼します...



コン...
コン...
コン...



い...
いいんですね
...?

ドクン...

ギシッ

ドクン...

パチュリー様...



ドキ...

じゅく...

なぜ自分のような
一介の司書見習いに
こんなことが
許されているのか

パチュリー様の
真意は未だに
分からないが

パチュリー様が
刺激を求める頻度は
確実に上がっていた

ちょ…っと
激しいってば…

声…でちゃう…
でしょ…っ

そ…そうですね…

確かに音が
トイレの外に
漏れるのは…

じゃあ
もつとゆっくり…

ここを
触りながら…

もぞぞ…

くに…

ハア…

ハア…

ポタ…

ポタ…

あ♡

っあ…

カタ…

んは…

カタ…

？

♡

♡

♡

♡

♡

♡

♡

♡

♡

♡

♡

♡

♡

♡

♡

♡

♡

♡

♡

♡



パチュリー様の
身体の「弱い部分」は
回数を重ねるごとに
さらに敏感になり



衝動に負けて
パチュリー様を
襲ってしまった
あの時から

罰という罰を
受けないのを
いいことに何度も
行為を繰り返したが...

パチュリー様が
一回の行為中に
いく回数は

最初の時とは
比べ物にならない
ほどに増えている…

また
イキそう
ですか…?

あ…?

あ…



パチュリー様が
満足するまで

はあ…

むん…

はあ…

何度だって
付き合いますよ…



無理やり
襲ったくせに…

ふる…

何…
気取って

あ…

あ…



んっ…んっ…

キュンッ

ぎゅららっ…

キュンッ

ふらっ…





日中はほとんど動かずに本を読みふけていてるパチュリー様：

日によっては本当に丸一日座ったままの落ち着いた時もあるが

時折ソワソワとした様子でふと席を立ちどこかへ姿をくらますのも

もはや珍しいことではなくなった

今日はどうかろう…

一応小悪魔さんには「新魔法の開発で図書館を離れることが多くなった」と説明しているらしいが

正直いつかバレてしまうのではないかとヒヤヒヤした毎日を送っている…

そして最近になってまた一つ変化が…

スタスタ

スタスタ

ガタッ

じや！





うぐ…
ついに罰が…

わ…
分かりました…



…
…仕事もせず
覗き見していた
変態男には
罰が必要ね…

のせ…

しばらくそこに
一人で
立っていないさい



私が部屋を
出るまで
目もつぶっていること

少しは…
そのまま反省
してなさい

ずるる…

…

目を…ですか？
は…はい…



一体
何を…

はあ…

はあ…

カチャ

カチャ

しやる…



ス…

? 何か…
足元で音が…
それに息遣いも…

パ…
パチュリー様…?

もぞ…



パチュリー様の欲求を…
無言のサインを
汲み取れていると
勝手に勘違いしていた…
今日もソワソワしてた
様子だったからつい…



もしかして自分から...

ドキッ

わ...

ポロッ



ふん...

ん...

ぞ

くん

ひやく



やっぱり...
こんなこと初めてだ...

ドキ...

ひちゃ

ドキ



感触で分かる...
パチユリー様の
小さくてあったかい
口...

な... 膣内とは
また違う
ぬくもりが...

はふ

はふ

ちゅる...る...

自分よりもはるかに
位の低い司書見習いのを
しやぶるなんて
屈辱的なんじゃないかと
思っていたけど

...そうか...
だから僕はあくまで
一人で立ってる体
なのか...



くちゅ

...さつきとは
指を出し入れする
速さが...音が
まるで違う...

無口なパチユリー様が
みずからこんな
下品な音を...

どちゅ

ん

口に啜えてるモノを
オカズにして...

ん

ふちゅ

ぢゅ



一体どんな格好で
膣内をかき回して
いるんだろう……

ちゅー

ちゅる
ちゅる

んっ

んっ

んっ

んっ

んっ

ちゅー

んっ

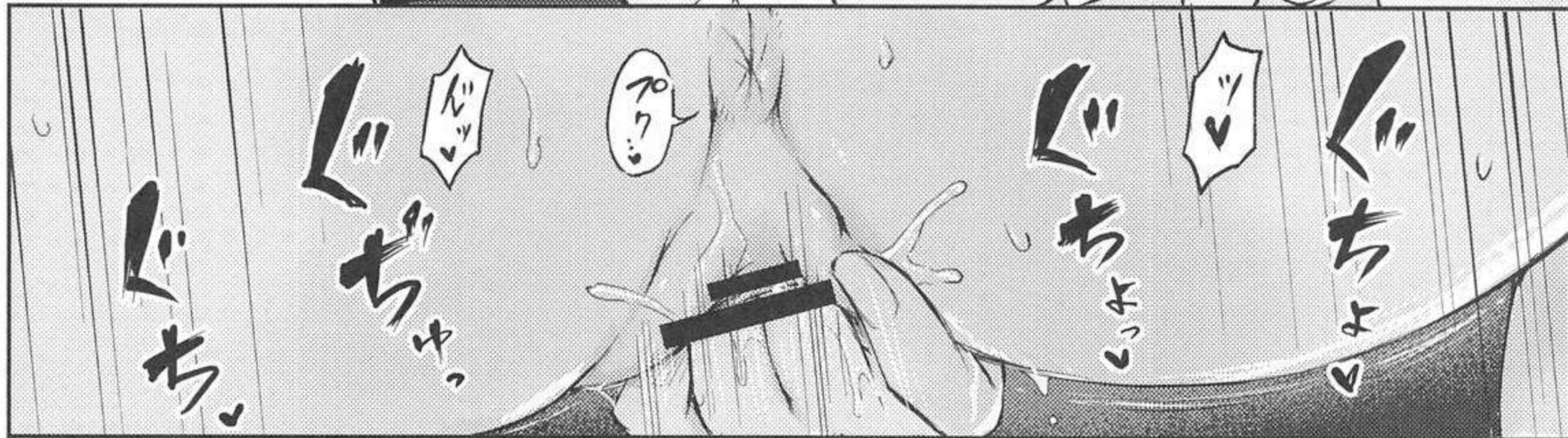
んっ

ちゅー

んっ

ちゅー

ちゅー



ちゅー

ちゅー

んっ

ちゅー

んっ

ちゅー



吸いつきが
強く……

く……口に
出してしまっても
いいの……？
い……や……

びき

びき

う……
ぞく……
パチユリー様が
イキそうな時の
甘え声……

んっ

んっ

んっ

んっ



気持ちよすぎで
もう……



ふあはっ……

でろっ……

出す……

は……

は……

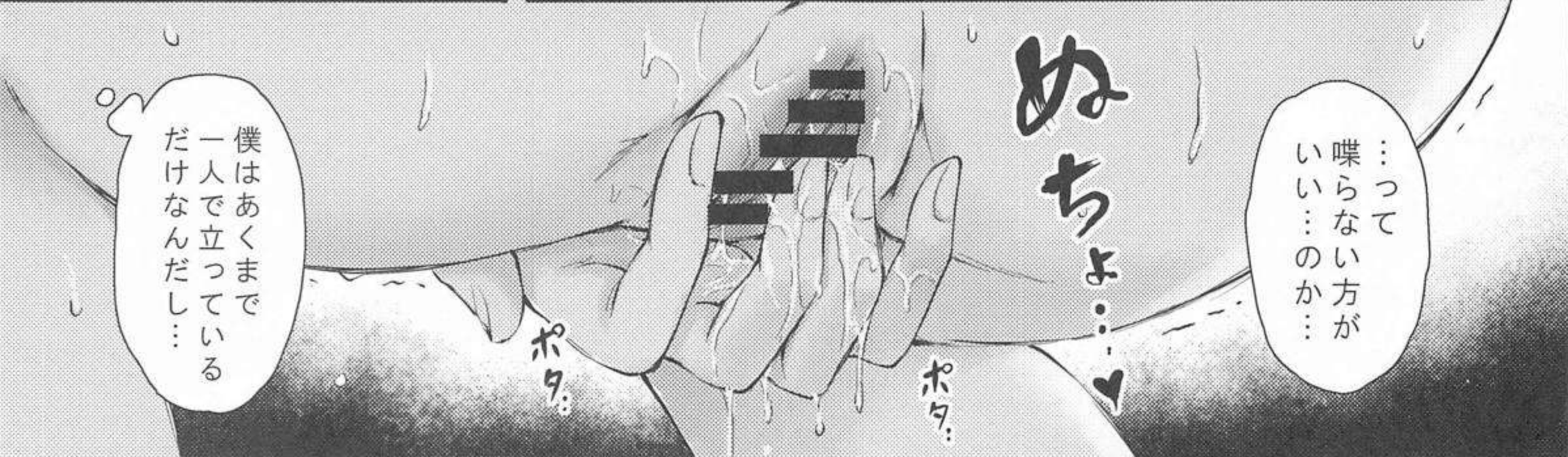


……

ハッ……

ハッ……

す……
す……
すみませ……



……って
喋らない方が
いい……のか……

ぬちよ……♡

ポタ……

ポタ……

僕はあくまで
一人で立っている
だけなんだし……



もうすぐ
夕飯だというのに
…

………?



ど……

どういうわけか
こんなに身体が
汗だくだわ……

ふう……

フキ
フキ

なんだか口の中も
べたついて
気持ちが悪いし……



ギィ……

バタン



ちら

スタ……

スタ……

今すぐシャワーを
浴びてキレイに
しなくちゃ……

……小さな方の
浴室……で



ぽんぽん

ぽんぽん

ぽんぽん

あっ

あっ



は…はい…

パチュリー様の
“独り言”が
聞こえて…



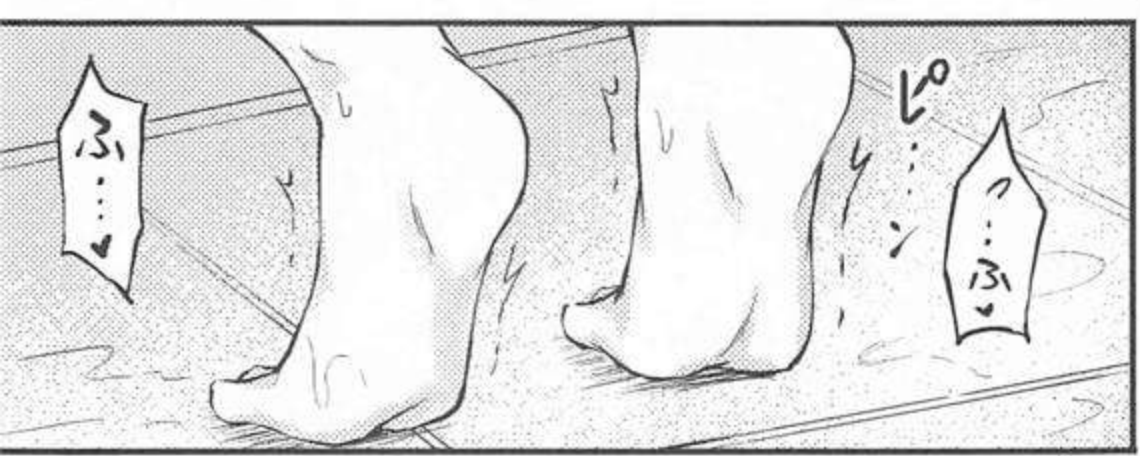
も…おっ…

シャワー浴びる
って…言った
だけ…なのに…っ



また僕がガマン
できなくなっ
ただけです…っ

あ…
そ…
そ…



ふ…

ふ…



すごい
イキっぷりです…

は…

は…

くた…



お…

お…

キ…

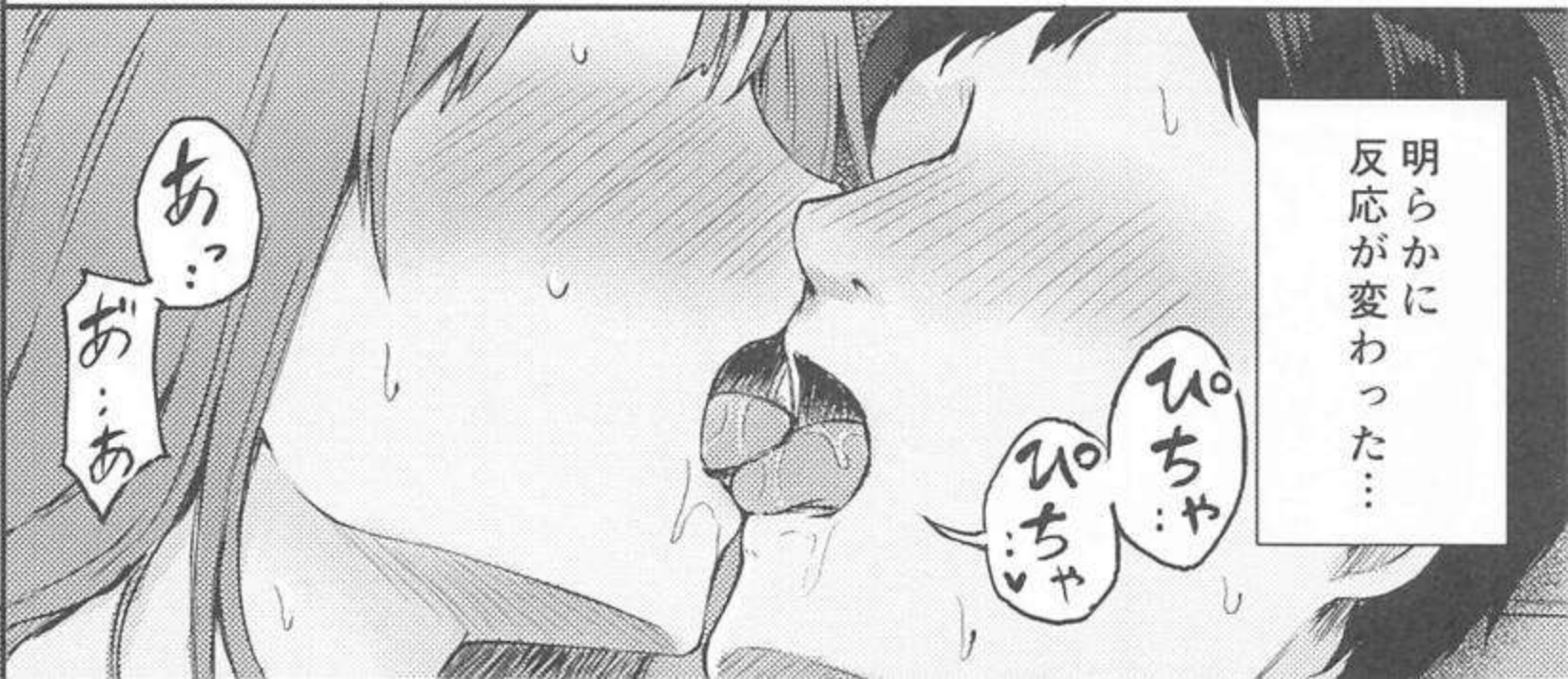


パチュリー様…

も…

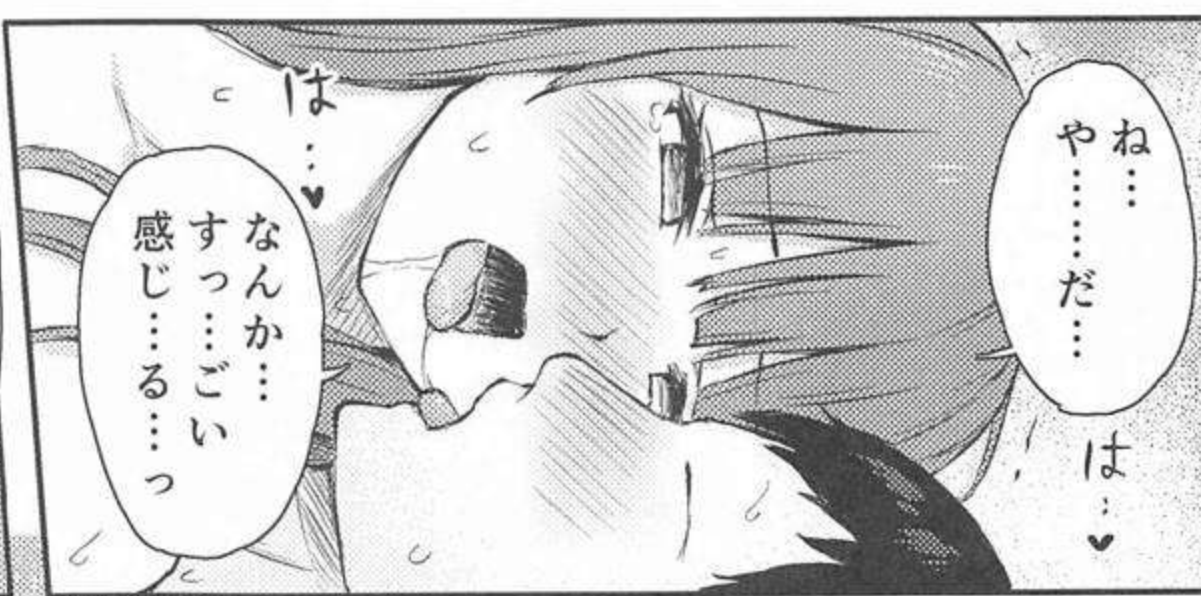


お：お口が
寂しいんですか...？





ここまで
気持ちよさそうに
身体を震わせる
なんて…



乳首も
ここまで
やらしく
大きく
なって…

はい…
パチュリー様の
身体

みちち…

またエッチに
なってます…

パチュリー様の
本能丸出しの音が
浴室中に響いてる…



口で塞いでも
漏れ出て外まで
聞こえてしまいそうな
ほど…



もっと
パチュリー様と
愉しみたい…

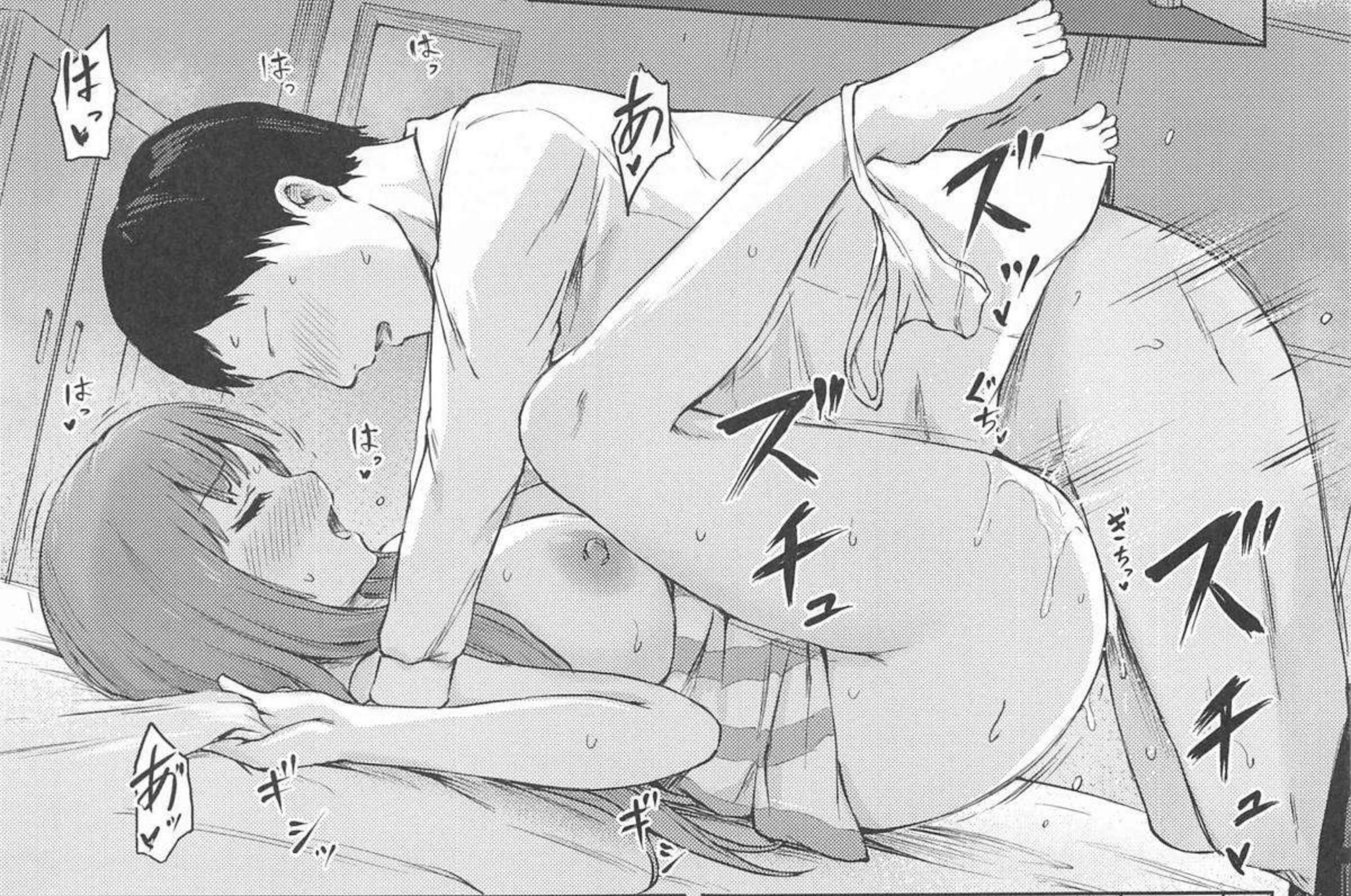


すみません
もう…っ

はあ…
はあ…



もっと……



全身で快楽を求める
パチュリー様が
可愛すぎて……

その口も含めて
身体の上から
下まで……



絶：対
またすぐ……
襲い来ると
思ってた……わよ……



夕食の時も……
盛りっぱなし
だったん……でしょ……
は……はい……
ぬぎ……



ね……
イっ……

イぎそ……

レロ……

くち……

ま……た……
へんな声……出ちゃ……

出っ……あ……



んっ……んあ……

んっ……んあ……

りゃ……



んっ……

んっ……

ちやう……

んっ……



はい……

むぎ……

も……も……と……
ぎゅって……
しな……ら……

むち……

もぞ……



んふ……

ぎやう……

んふ……



体重が乗って…
奥まで
突くたびに…



パチユリー様の
はしたない声と
吐息が耳元で…

これ
やばい……っ

急に……



はあ…
はあ…

す…
凄いです…
今日…

一段と…
締まりが…

もわ…

ずるーるー

ビク
ビク



ぐちゅっ…

はっ

はっ

はっ

うぐ…ツ

パ…チュリー…
様…

はっ

見ない…
で…

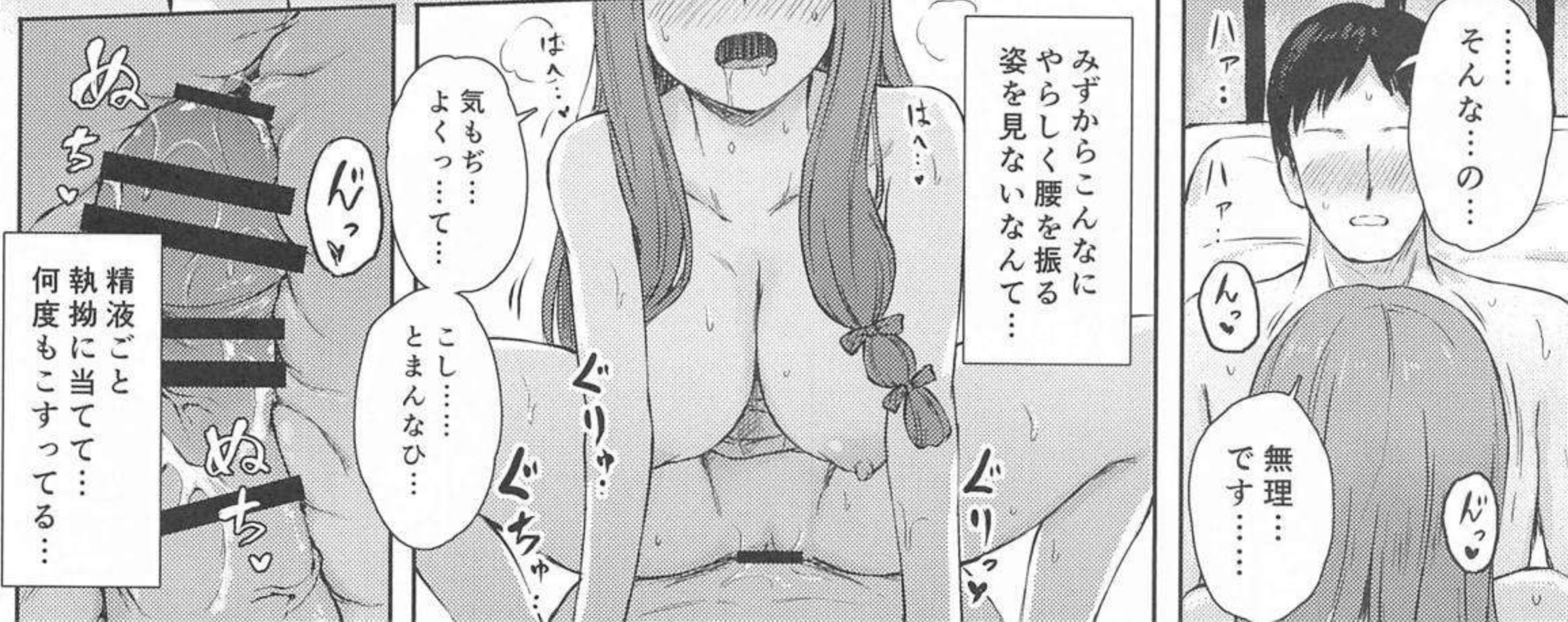
はっ

はっ

また…
目…
つぶって…

ぬちゅっ
ぐちゅっ

たほっ
たほっ
たほっ



…
そんな…の…

はっ

はっ

無理…
です…

みずからこんな
やらしく腰を振る
姿を見ないなんて…

はっ

気もち…
よくっ…て…

こし…
とまん…

ぐんっ

ぐりゅっ
ぐちゅっ

精液ごと
執拗に当てる…
何度もこすってる…

ぬちゅっ

ぐんっ

ぐりゅっ



今までに見つけた
膣内の…すごく
感じる部分に…



パチュリー様
あなたは



きっかけは
僕の最低な
行いだっただのに



一体どこまで
エロく…



ふあへっ

あっ

あっ

パチゅっ
パチュリー様……

ちゅぱっ

わん

わん

ちゅぱ



はっ……

はっ……

か

ぱ

ぐちゅ



こんなやらしい身体……

どちゅ
どちゅ

どちゅ
どちゅ

理性が抑えられない……



あおっ
あおっ

ぶるん

どちゅ
どちゅ

どちゅ
どちゅ

どちゅ
どちゅ

どちゅ
どちゅ

どちゅ
どちゅ

どちゅ
どちゅ



ま……た……
出……て……る……

ま……待……つ……へ……
ち……よ……と……

い……く……の……
休……ま……へ……

ぐ……ぢ……よ……

あ……ッ……

ぐ……ぢ……よ……



当……た……つ……て……ま……す……か……

パ……チ……ュ……リ……様……の
大……好……き……な……と……こ……ろ……

ポ……ッ……

ギ……ョ……

ギ……ョ……

ハ……ッ……

は……ッ……

は……ッ……

ハ……ッ……

は……ッ……

ハ……ッ……



な……か……
ぜ……ん……ぶ……
ぎ……も……ぢ……っ……い……

ぜ……ん……ぶ……
す……ぐ……
い……ひ……ゃ……う……か……ら
っ……

も……う
い……き……っ……ば……な……し……で

う……

意……識……も
朦……朧……と……し……て……き……て
い……る……様……子……な……の……に……



あ……だ……つ……て……
る……っ……か……ら……

な……か……
ぜ……ん……ぶ……

は……ひ……ゆ……

は……ひ……ゆ……

び……ち……や

び……ち……や

ガ……ク



なおも本能だけで
はしたなく
お尻を振って

口と裏腹に
夢中で快楽を
貪ってる……



い……
今までで一番



あ……
あ……
すごいのを……



もう僕に
できることは……

げ：限界まで
搾り取って……
ください……



本当に
どこまで……

は……

ひろ……



——書庫の時から
一日を通して何度も
絶頂を繰り返し

もうお互い
疲れ果てて
ほとんど身体も
動かなくなっていたが

その後も…

はあ

はあ

はあ

まだ緩く刺激を
求めるパチュリー様の
身体をいじり続けていた
………

あ

……



ん……っ♡

また出る…

ぶる…

ひゅっ♡

くちゅ…

くちゅ…♡

くちゅ…

くちゅ…

もう朝になります
パチュリー様…

ハア？

ハア？

お食事も
摂らないとですし

さすがに眠たく
なってきたのでは…

ちゅぶ…♡

ちゅぶ…♡

……

……まだ……

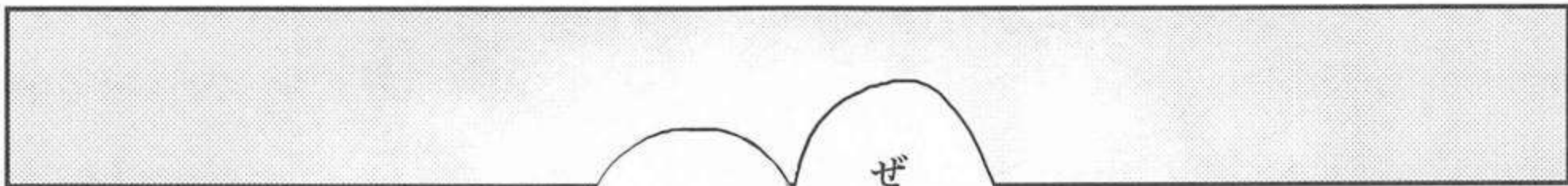
ちゅぼ…



もう少しだけ…

このままです…らる…

キヤ…



ぜんぶ…

あなたのせい
なんだから…

どうも、てちでございます。
今回はパチュリー開発本の続編となりました。

続きものということで導入もそこそこに、冒頭から最後までエッチなシーンを詰め込めて個人的には非常に満足しております。反面、前作を読んでいない方が置いてけぼりにならないかという不安もありますが…
竿役男君がパチュリーを襲ってなんか身体をエッチにしたという最低限のことは分かっていただけでるはず…
というかそれ以上の情報ほぼないけど…

パチェ本は何かいい構想が浮かんだらまた描きたいと思います。
それでは、本誌をお手に取っていただきありがとうございました。
(Twitterなどで本の感想をいただけると喜びます)

てち

誌名：パチュリー・ノーレッジ快発記録Ⅱ

発行：てこめんち

発行者：てち

発行日：2021年10月24日

(博麗神社秋季例大祭8)

Twitter：@Techi0001

e-mail：techi35499@gmail.com

原作：上海アリス幻楽団 様

印刷：大陽出版株式会社 様

Touhou Project fanbook
Presented by Tekomenchi